



各位

会社名 株式会社アルファクス・フード・システム  
 代表者名 代表取締役社長 田村 隆盛  
 (コード番号:3814 東証 JASDAQ)  
 問合わせ先 上席執行役員 IR・広報室室長 菊本 健司  
 電話番号 0836-39-5151  
 URL <https://www.afs.co.jp/>

## 2021年9月期第2四半期業績予想の修正及び貸倒引当金繰入額計上に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2020年11月13日付「2020年9月期決算短信[日本基準] (非連結)」にて公表いたしました、2021年9月期第2四半期の業績予想について修正することとしましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、当社は下記のとおり2021年9月期第2四半期において、貸倒引当金繰入額を計上することとなりましたのでお知らせいたします。

記

### 1. 業績予想の修正について

(1) 2021年9月期第2四半期 (累計) 個別業績予想数値の修正 (2020年10月1日~2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 1,000	百万円 15	百万円 10	百万円 7	円 銭 2.84
今回発表予想 (B)	913	35	△17	△22	△9.17
増減額 (B - A)	△87	20	△27	△29	
増減率 ( % )	△8.7	133.3	—	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2020年9月期第2四半期)	679	△229	△250	△452	△183.57

### (2) 主な修正の理由

当第2四半期につきましては、新型コロナウイルス感染症による政府緊急事態宣言の影響もありましたが、コロナ禍に於いても引き合いが多く利益率の高い、製品/サービス(セルフレジや除菌ロボット、自動発注システム)に集中し、その結果、営業利益は前回予想時より133.3%の増益となりました。なお、増資による経費や、コロナ禍の影響を受けて、入金の変延等が発生していることから、保守的に営業外費用に貸倒引当金繰入額を35百万円計上した結果、経常利益は前回予想時よりマイナス17百万円(27百万円減益)、当期純利益はマイナス22百万円(29百万円減益)となりました。

緊急事態宣言や営業時間等自粛要請による影響で、当社の「自動発注システム」の受注および導入進捗に影響を受けておりますが、コロナ禍においても売上/粗利が確保できる、配膳・除菌AIロボットや除菌ゲート(ウィルスゲート・ショット)につきましては、引き合いが続いており、通期につきましては、現在のところ、計画通り推移する見込みでございます。

### 2. 貸倒引当金繰入額の計上について

当社と株式会社光通信との合弁会社である、非連結子会社である株式会社AFSマーケティングに対して、販売支援金

などの貸付金等13百万円がありますが、今後業務の効率化のため部門吸収を行うこと、また取引先債権額等も勘案し、当第2四半期の決算において、貸倒引当金繰入額35百万円を営業外費用として計上することといたしました。

以上